

活動の発展を図り、今日に至っている。なお、この間の対がん活動により、昭和55年度がん征圧大会において、日本対がん協会賞を受賞した。

本県の特徴は、鳥取県医師会が窓口になり県内医療機関からの届出を一手に引き受けていることと、それに加えて鳥取大学医学部が実務と集計解析および報告書の作成等を行っていることである。

1992年からは「地域がん登録全国協議会」の発足に伴い鳥取県も参画し、地域がん登録の精度向上と活用ならびに登録技術・情報の交換を目的にした活動を行っている。

## 2. 鳥取県がん登録の組織体系

医師会員が日常の診療活動において、がん患者を診断した場合に、所定の用紙（腫瘍登録診断票）に必要事項を記入し、鳥取県医師会内にある健康対策協議会に設置されている腫瘍調査部に送付することで登録される。受付窓口では、情報漏れの有無をチェックし、腫瘍登録帳票に入力されて登録が完了する。個人識別情報の不完全な登録に対しては登録室から問合せ票を送付し、再度の情報提供を求める。特に腫瘍占居部位および組織型についての問い合わせが多い。登録情報の管理と集計解析は、鳥取大学医学部環境予防医学分野にある登録室が担当している。2000年問題を契機に、登録システムの再構築が行われ、パソコンの新規導入により登録作業のマニュアル化による省力化が実現した。現在、県医師会腫瘍調査部では1名の医師会職員（岩垣陽子）が、医学部登録室では1名の研究補助員（小林まゆみ）と1名の教官（岡本幹三）が実務を担当している。問題は、スタッフ不足もさることながら、鳥取市にある県医師会で届出受付・データ入力を行い、100km離れた米子市にある医学部で最終的な登録作業とデータ管理および集計解析を行っていることである。そのため、円滑な情報交換や作業の進行に支障を来すことが懸念される。

## 3. がん登録の現状

近年の鳥取県における大きな変革といえは2000年問題を契機にがん登録の電算機処理のシステムの構築（腫瘍登録管理システム：平成13年1月完成）が実現され、

がん登録の診断票の届出受付、問い合わせ票の受付・発送ならびに医療機関の届出集計、部位別の届出集計、さらには検索・照合・訂正・アップデートが画面上で即時にできるようになったことである。その分、毎年悩まされていた標準集計の処理が随分楽になり短縮された。

がん登録の命は、偏に届出の精度向上にかかっているが、ここ数年間で登録精度は悪化し、DCNが36%にも上昇している。特に、大学病院の届出が悪く昭和61年には470件もあった届出が平成2年以降半減し、その後何度も届出勧奨を試みたものの効果なく、かくなる結果となったといえる。しかし、昨年より届出勧奨の効果があらわれだし、届出状況が改善されてきたこと、検診発見がんの登録もれ患者の登録が可能となったことで、数年先にはDCNの減少が期待できるものと確信している。今後の課題として、がん登録の格段の精度向上のための補充票の導入、県民への情報還元、ホームページの充実、がん登録資料の情報保護および利用に関する規定の早期完成などが上げられる。

## 第13回総会研究会ならびに実務者研修会のご案内

辻 一郎  
宮城県新生物レジストリー

東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野

第13回地域がん登録全国協議会総会研究会を2004年9月3日（金）に宮城県庁講堂にて開催いたします。今回の総会研究会では「地域がん登録と疫学研究」を主題とし、これまでの日本における疫学研究で地域がん登録が果たした役割を振り返るとともに、今後地域がん登録に期待される点に関して議論を深めることができると考えております。また前日の9月2日（木）には実務者研修会を同じく宮城県庁講堂にて開催いたします。両日とも多数のご参加をお願いいたしたく、ご案内申し上げます。なお本会に関するお問い合わせは次頁の第13回地域がん登録全国協議会総会研究会事務局までいただければ幸いです。

〒980-8575 宮城県仙台市青葉区星陵町 2-1  
東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野内  
第 13 回地域がん登録全国協議会総会研究会事務局  
TEL 022-717-8122 FAX 022-717-8125  
E-mail jacr-2004@umin.ac.jp

プログラム (予定)

9月2日(木) 実務者研修会

会場 宮城県庁講堂

参加費 1,000 円

司会 坪野 吉孝 (東北大学公共政策大学院)

1500-1540 「第3次対がん総合戦略事業と地域がん登録」

祖父江 友孝 (国立がんセンター)

1540-1620 「地域がん登録個人情報保護ガイドライン」

大島 明 (大阪府立成人病センター)

1620-1630 休憩

1630-1710 「地域がん登録の標準項目と分類コード」

金子 聡 (国立がんセンター)

1710-1750 「多重がんの取り扱い」

早田 みどり (放射線影響研究所)

9月3日(金) 総会研究会

会場 宮城県庁講堂

参加費 3,000 円

830 受付開始

830-900 ポスターセッティング

900-935 挨拶 祝辞

935-950 実務者研修会報告

950-1200 シンポジウム

「大規模コホート研究と地域がん登録」

座長 坪野 吉孝 (東北大学公共政策大学院)

1. 総論

坪野 吉孝 (東北大学公共政策大学院)

2. 宮城県コホート

西野 善一 (東北大学大学院公衆衛生学分野)

3. 厚生労働省コホート

井上 真奈美 (国立がんセンター)

4. JACC Study

玉腰 暁子 (名古屋大学大学院予防医学分野)

5. 三府県コホート

祖父江 友孝 (国立がんセンター)

6. 広島長崎被爆者コホート

児玉 和紀 (放射線影響研究所)

1200-1230 総会

1230-1330 昼休み

1330-1400 ポスター見学

1400-1500 特別講演

「宮城県におけるがん疫学研究とがん登録」

久道 茂 (宮城県病院事業管理者・東北大学名誉教授)

座長 祖父江 友孝 (国立がんセンター)

1500-1600 教育講演 1

「乳がん検診ガイドライン作成の経緯とがん登録」

大内 憲明 (東北大学大学院腫瘍外科学分野)

座長 渋谷 大助 (宮城県対がん協会)

1600-1700 教育講演 2

「個人情報保護とがん登録」

安富 潔 (慶応大学法学部)

座長 辻 一郎 (東北大学大学院公衆衛生学分野)

1700 閉会挨拶

1700-1730 ポスター撤去

1800-1930 懇親会 (ポスター表彰)

会場 勾当台会館

懇親会費 4,000 円

第 26 回国際がん登録学会 (26th Annual Meeting of IACR) のご案内

大島 明

大阪府立成人病センター調査部

主題: Promoting Cancer Registration in the Developing Countries and Enhancing Cancer Prevention and Control in the World

会長: Prof. Ping Zhao (Cancer Institute/Hospital, Chinese Academy of Medical Sciences)